

# 親子聖書日課

NO.1835 2023.11/26-12/2 名前

[日]アザルヤ(ウジャ)は晩年主に打たれます。祭司が止めたのに、祭司の務めである香を焚こうとしたからです。委ねられていない奉仕は、自分が出来たとしても手を出してはいけません。人の奉仕は尊重し、委ねられた奉仕は忠実にいきましょう。

[月]父が行ったように、主の目に適う正しいことを行えばそれでよいではありません。それは律法に従ったのであって、自ら主を信頼して歩んだのではないからです。主は信頼することを学ばせるため、ユダに試練を与えます。試練も感謝しましょう。

[火]アハズはユダの中で最もひどい王でした。それまで比較的よい王だったのは、父に倣う歩みをしてきたからです。しかし、十分ではありません。真似できるのは、形だけで、信仰は真似できないからです。各自心から悔い改め、信じることです。

[水]人は自分の生まれ育った風習から離れられないものです。つい縁起をかついたり、占いや迷信に支配されたりします。そんなものは身を滅ぼすだけですから、悪い習慣は断ち切りましょう。風習ではなく、信仰で生きるなら、実を結びます。

[木]サマリヤの人々は真の神を礼拝しながら、従来の偶像も礼拝しました。偶像は目に見えるものだけではなく、人の心を捉えるもの(知識、富、名誉)は、偶像です。偶像を捨て、信仰一筋で生きましょう。「主のみ畏れを抱けば」必ず、救われます。

[金]ラブ・シャケのような人はいませんか。「神を頼って一体何になる。頼れるのは自分の力だ」と語る。しかし、それは死に対して全く無力です。永遠の命を与えてくださる神ほど頼りになる方はいません。神に頼り切るなら、人生の勝利者になれます。

[土]嘲りの言葉に対して一番よい応答は、「押し黙って一言も答えない」ことです。反論すればするほど、嘲りの言葉がエスカレートするものです。自分達の言い分を神に委ねるなら、神が代わって答弁して下さいます。口を閉ざして、神の御声を聞きましょう。



	聖書	問題	答え
日	列王記下 14:23- 15:16	主は王を打たれたので、死ぬ日まで何に悩まされましたか。	
月	15:17-38	ヨタムは正しいことを行っていたが、ただ何は取り除きませんでしたか。	
火	16:1-20	祭司ウリヤはアハズ王が送ってきたものそっくり何を築きましたか。	
水	17:1-23	あなたたちは何を離れて立ち帰らなければなりませんか。	
木	17:24-41	あなたたちの神、主にのみ何を抱くべきですか。	
金	18:1-25	なぜこんな頼りないものに頼っているのかと言ったのでは誰ですか。	
土	18:26-37	ラブ・シャケの言葉にユダの民はどんな態度を取りましたか。	
		<b>感想と祈りの課題</b>	